

情報通信審議会 電気通信事業政策部会（第20回）議事概要

1 日時

平成24年3月1日（木） 10時30分～11時25分

2 場所

総務省第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

山内 弘隆（部会長）、相田 仁（部会長代理）、井手 秀樹、斎藤 聖美、
新町 敏行、高橋 伸子

（以上6名）

（2）臨時委員（敬称略）

根岸 哲

（以上1名）

（3）専門委員（敬称略）

菅谷 実

（以上1名）

（4）総務省

桜井総合通信基盤局長、原口電気通信事業部長、安藤基盤局総務課長、
古市事業政策課長、木村事業政策課調査官、
二宮料金サービス課長、大村料金サービス課企画官、
中沢番号企画室長

（5）事務局

藤江情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長

4 議 題

- (1) 携帯電話の電話番号数の拡大に向けた電気通信番号に係る制度等の在り方【平成23年5月25日付け 諮問第1215号】

審議の結果、電気通信番号政策委員会から報告があったとおりの(案)を了承し、答申することとした。

【内容】

本件は、携帯電話の需要増加に伴う新たな電話番号の導入等について、昨年5月の諮問以降、電気通信番号政策委員会において検討を行ってきたものであり、

- ①携帯電話の電話番号の需要増加に対応するために、遅くとも平成26年初頭までに携帯電話の電話番号数の拡大策として070番号を開放すること
 - ②利用者利便の向上を図るために、平成26年度内までに携帯電話とPHS間の番号ポータビリティを導入すること
- 等を提言しているもの。

- (2) 災害等緊急時における有効な通信手段としての公衆電話の在り方【平成23年10月4日付け 諮問第1216号】

審議の結果、ユニバーサルサービス政策委員会から報告があったとおりの(案)を了承し、答申することとした。

【内容】

災害等緊急時における通信手段としての公衆電話の在り方として常設の公衆電話・特設公衆電話に関する取組及び利便性の向上の取組、災害等緊急時における通信手段としての公衆電話の在り方を踏まえたユニバーサルサービス制度の在り方等について、昨年10月の諮問以降、ユニバーサルサービス政策委員会において、議論を行ってきたもの。

本部会にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

担当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 安藤、吉原

電話 03-5253-5957

FAX 03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai_●_soumu.go.jp

※迷惑メール防止対策をしているため、__●__をアットマークに置き換えてください。